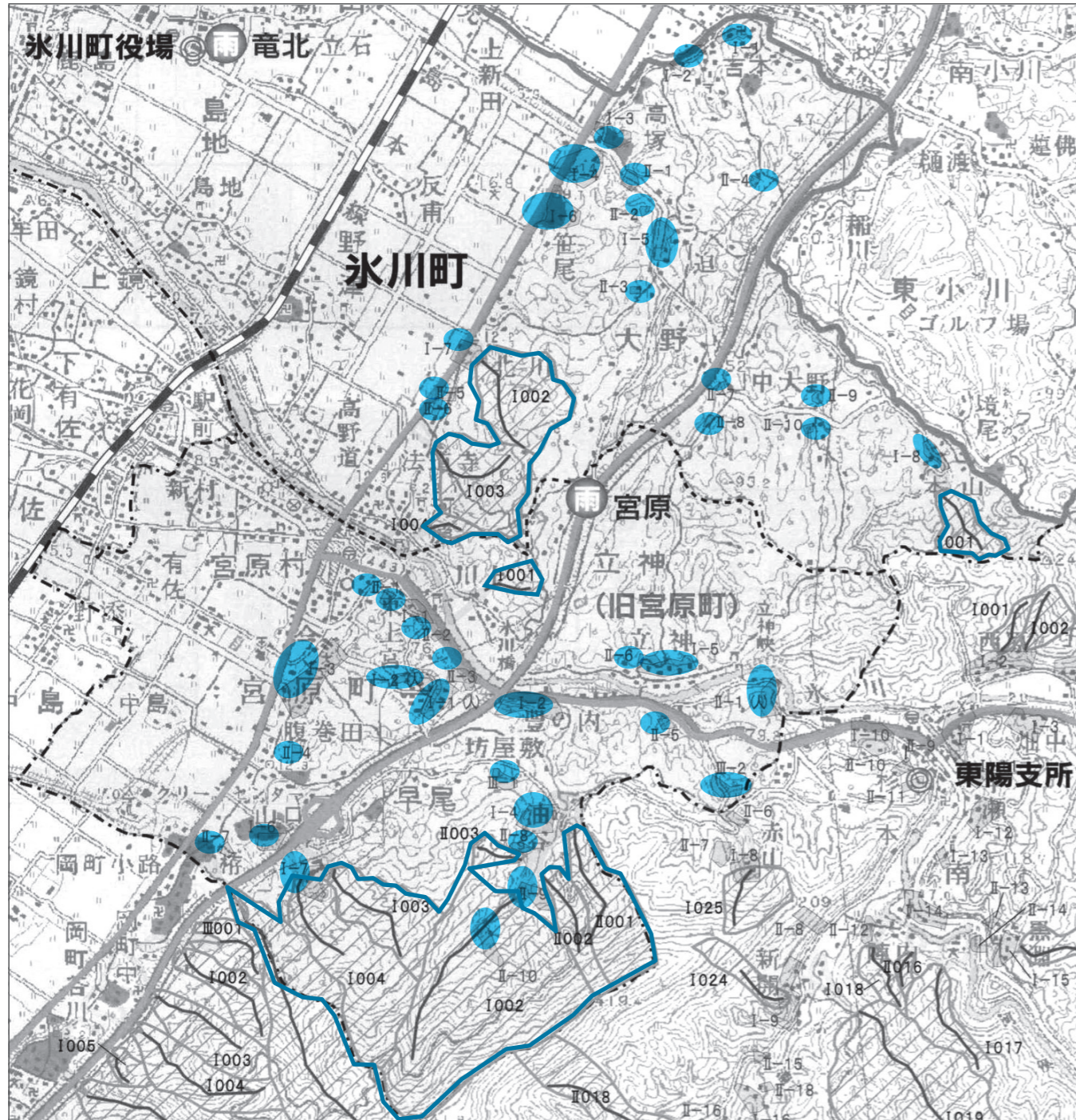


土砂災害危険箇所図

● 急傾斜地崩壊危険箇所

□ 土石流危険箇所



緊急時の連絡先
 氷川町役場 総務課 ☎52-7111
 宮原振興局 総務振興課 ☎62-2311

土砂災害情報の入手先

- ◆ 熊本県統合型防災情報システム
<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>
 熊本県が観測している県内164箇所の最新の雨量・土砂災害危険度情報をパソコンで閲覧できます。
- ◆ 気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/>
 大雨警報発表中で大雨による土砂災害の危険度がさらに高まった場合に「土砂災害警戒情報」が発表されます。

指定緊急避難場所および指定避難場所一覧

施設名称	住所	電話番号
竜翔センター	島地651番地	52-5121
文化センター	島地642番地	52-5860
竜北中学校	島地665番地	52-1504
農産加工研修センター	鹿島1624番地1	52-0035
竜北東小学校	野津2336番地	62-3800
竜北西部小学校	鹿島746番地	52-0268
氷川町公民館 宮原体育館	宮原690番地2	62-2516
宮原小学校	今762番地	62-2147
氷川中学校	今39番地	62-2525
常葉保育所	宮原823番地	62-2232
宮原福祉センター	宮原702番地5	62-3456

災害から身を守るために

土砂災害に対する備え

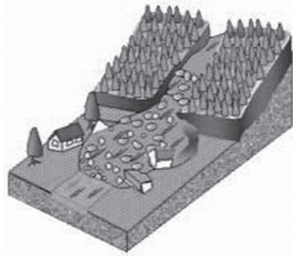
8月20日、広島市において、豪雨による大規模な土砂災害が発生し、70人を超す命が失われました。台風の接近により、豪雨が想定される時期です。一瞬にして生命や財産を奪う土砂災害の被害を防ぐため、万が一のときに対する備えについて考えてみましょう。

土砂災害とは

土砂災害は次の3つに分類されます。

① 土石流

山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20〜40キロメートルという速さで一瞬のうちに人家や畑などを崩壊させてしまいます。



- 【土石流の前触れ】
- ・ 山鳴りがする
 - ・ 雨が続けているのに川の水位

が下がる
 ・ 川が濁ったり、流木が流れる

② がけ崩れ

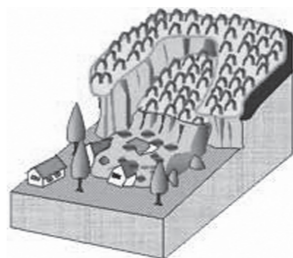
地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなっています。



- 【がけ崩れの前触れ】
- ・ がけからの水が濁ったり急に水量が増える
 - ・ がけに亀裂が入る
 - ・ 小石が落ちてくる
 - ・ がけから音がする

③ 地すべりとは

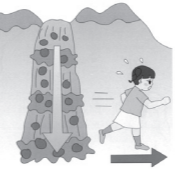
斜面の一部、あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また、いったん動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



- 【地すべりの前触れ】
- ・ 地面にひび割れができる
 - ・ 井戸や沢の水が濁る
 - ・ がけや斜面から水がふき出す

土石流に遭遇したら逃げ方に注意しましょう!

土石流は流れ下るスピードが速いため、流れを背にして逃げたとしても追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して、直角に逃げるなど、逃げ方に注意しましょう。



土砂災害から身を守るためのポイント

① 住んでいる場所が「土砂災害危険箇所」であるかどうかを確認する

土砂災害発生時の恐れがある地区は「土砂災害危険箇所」とされています。

次ページの土砂災害危険箇所図または各家庭に配布されている洪水ハザードマップ(氷川町ホームページにも掲載)で自分が住んでいる場所が土砂災害危険箇所ではないか、確認しましょう。

☆土砂災害危険箇所ではない場合も、付近に「がけ地」などがあれば注意をしましょう。

② 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意する

降雨時は、「土砂災害警戒情報」に注意しましょう。

土砂災害警戒情報は、降雨による土砂災害の危険が高まったときに市町村長が避難勧告などを発令する際の判断や、自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表している防災情報です。

③ 土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難する

☆大雨による電波障害や停電などに備えて、携帯ラジオを準備しておきましょう。

土砂災害警戒情報が発表されたら、早めに近くの避難場所(次ページの避難場所一覧を参照)などの安全な場所に避難しましょう。

強い雨や長雨のときなどは、町の防災行政無線や広報車による呼びかけに注意し、お年寄りや障がいのある人など、避難に時間がかかる人は、移動時間を考えて早めに避難することが大切です。

☆土砂災害の多くは、木造の1階で被災しています。避難場所への避難が困難なときは、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難するか、難しい場合は、家の中でより安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に避難しましょう。